

平成29年度決算特別委員会の委員に選出されました。



昨年の9月定例会において、平成29年度決算特別委員会の一員として質疑を行いました。今回取り上げた話題の一部をピックアップして現状も含めご報告致します。

1 受動喫煙の防止について

兵庫県では受動喫煙防止条例を平成25年4月に施行し、屋内における分煙、禁煙の取組はすすめてきましたが、路上における喫煙については考慮されていません。平成32年4月1日から全面実施される国の受動喫煙対策強化も屋内の対策にとどまっています。

私自身も妊娠したことで、**子供への影響を考えると受動喫煙を避けるようになったものの、特に路上喫煙については避けられない場面が多い**ため、現在の対策における課題認識と今後の方針について問いました。

→昨年12月26日に兵庫県の条例改正案が発表されました。20歳未満や妊婦の受動喫煙防止が柱となっており、**子供や妊婦が同室にいたり、車に同乗したりする場合のほか、学校周辺や通学路も禁煙**としています。私的空間については罰則規定がありませんが、条例改正を機にマナー向上、健康増進に繋がるように提言してまいります。

2 肢体不自由児者の支援について

阪神地域は、脳性麻痺等にも対応した障がい児者リハビリ施設が**慢性的に待機状態であり、18歳以上の障がい者が通院できるリハビリ施設がないことから、県東部の障がい児者リハビリテーション拠点の整備**が求められています。

平成29年度、県庁内でプロジェクトチーム(PT)を設置し、県東部、特に阪神地域における肢体不自由児者にかかわる課題を丁寧に洗い出されました。その成果として、平成30年下期からの**更生相談所のランチ機能の設置やレスパイトサービスの空床確保**など、早速政策化。今後検討されるリハビリテーション拠点の課題、展望を問いました。また、当事者団体未加入の障がい児者やご家族に対する情報発信を求めました。

→平成30年度、課題を精査するため**肢体不自由児者父母の会や育成会等の当事者団体や有識者、関係団体等で構成する検討委員会が設置され、リハビリテーション拠点の設置の必要性や代替手段の有無、保持すべき機能、また既存の施設との関連性等の協議**を進めているとのことでした。検討会で方向性が固まれば市町と連携し、広く情報発信に努めていくとのこと。私も次年度予算への申し入れなどで設置を求めて参りましたが、平成29年度のPTの成果として昨年秋から更生相談所のランチ機能の設置、レスパイトサービスの空床確保など早速政策化されているため、**東部のリハビリテーション拠点設置も可能性が高いものと期待**しています。私自身、脳性麻痺の障がい者である長兄が頸椎の手術後、障がいの特性に合わせたリハビリを受けることが難しい実態に家族として直面しました。リハビリ拠点設置とともに、専門人材の育成についても取り組んでまいります。



- その他の質問 ●兵庫県におけるインターンシップ事業について ●ICTを活用した患者情報共有システムの拡大について ●在宅医療における停電時の安全確保について ●ワーク・ライフ・バランスの推進について ●中小企業高度化資金について ●CO2削減について ●兵庫県のごみの状況について ●特別支援教育における教員の専門性の向上について ●中学校における学校給食を活用した食育の推進について ●廃プラスチックのリサイクルについて ●西宮市における水害対策について ●文化財の保存、活用について ●県立尼崎総合医療センターについて ●県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編について

県政トピック

兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編について

平成29年3月に両病院のあり方検討会から「両病院を統合し、新用地に新病院を整備することが最も望ましい」との方針が示され県と市で検討を重ねてきましたが、基本的事項について合意が整ったとし、平成31年1月10日、基本協定案が発表されました。

新病院はアサヒビール西宮工場跡地に早ければ2025年にも開院する予定です。整備、運営は県が担いますが、市も建物の建設費と運営費の一部を負担するほか、市職員の派遣や運営協議会の設置など経営に携わる仕組みとなっています。

新病院で提供される診療機能等の詳細は基本計画で定めるとしており、まだ詳細は示されていません。**西宮市内に新しく600床もの規模の総合病院ができることは地域の明るいニュース**です。ただ、大型病院の経営は厳しくなっており、公立病院についても健全な経営が求められる時代となっています。前述の決算委員会でも、平成27年に統合再編された**尼崎総合医療センターに関して、周辺の民間病院との役割分担や、医療の質の確保と効率的な経営の両立についての課題を指摘**しました。アサヒビール跡地に新たにできる新病院についても、地域医療の発展に寄与するものとなるよう議論してまいります。



1984年(昭和59年)2月生まれ

日本大学法学部卒業 / 有限会社五感 GOKAN 勤務、衆議院議員秘書を経て兵庫県議会議員 3期

現在の主な役職 兵庫県セーリング連盟理事 / 西宮テニス協会会長 / 兵庫県小学生バドミントン協会会長 / ボーイスカウト西宮第7団相談役 / 津門綾羽町・大筒町・今津山中町各自治会顧問